

第11回（平成2年度）研究助成金，海外派遣・

招聘補助金受領者一覧

（受領者の所属等は申請時）

I 癌研究助成金（1件200万円，2件総額400万円）

- 「癌の補体療法—開発の可能性に関する研究」（大阪府立成人病センター研・主幹） 瀬谷 司
「発癌プロモーションの分子作用機構とそのレチノイドによる阻害機構」
（東大・応微研・助教授） 橋本 祐一
以上2件（注1 応募件数11件）

II 研究助成金（1件100万円，15件総額1,500万円）

- 「胎児性胆汁酸を指標とする先天性胆道閉鎖症マスキング法の開発」
（東日本学園大・薬・助教授） 池川 繁男
「腫瘍壊死因子の腫瘍細胞傷害活性の解析と抗癌剤への応用」（摂南大・薬・助教授） 奥 直人
「両親媒性ペプチドによる生体膜の損傷機構」（岡山大・薬・助手） 勝 孝
「ペルオキシゾーム増殖剤によるリン脂質代謝の攪乱とその生理的意義」
（富山医薬大・薬・助手） 川嶋 洋一
「光学活性アジリヂンを用いるDNA指示性化合物の合成と評価」（京大・化研・助手） 川端 猛夫
「転写活性化因子 Spl 亜鉛フィンガーの構造と機能に関する生物物理化学的研究」
（京大・化研・助手） 桑原 淳
「海洋共生渦鞭毛藻由来の生理活性マクロリドの探索」（北大・薬・教授） 小林 淳一
「高等植物における二次代謝遺伝子発現制御の分子機構」（千葉大・薬・講師） 斉藤 和季
「製剤処方最適組成の決定法に関する研究」（星薬大・講師） 高山 幸三
「合成による苔類のセスキテルペノイドの絶対配置に関する研究」
（徳島文理大・薬・助教授） 通 元夫
「低酸素性細胞を標的とした選択的抗腫瘍効果とその増感に関する研究—放射線及び
生物学的応答修飾機構（BRM）による抗癌作用の化学的修飾」
（慶大・医・薬化研・助手） 永澤 秀子
「ペルオキシゾーム増殖の誘導とその調節」（東京薬大・助手） 山田 純司
「二次性能動輸送過程のエネルギー共役機構」（東理大・基礎工学・助教授） 山登 一郎
「中枢神経系におけるアラキドン酸カスケードの調節機構」
（(財)大阪バイオサイエンス研・特別研究員） 吉原 良浩
「制がん制ヌクレオシドによる細胞内DNA損傷の解析」（岡山大・薬・助教授） 綿矢 有佑
以上15件（注2 応募件数55件）

III 研究者の海外派遣補助金（1件40万円以内，9件，総額300万円）

前期

- 「第2回リボヌクレアーゼの構造と機能に関する国際会議」1990.9.16～20 於スペイン
（星薬大・教授） 入江 昌親
「第15回国際癌学会—化学発癌物質の代謝的变化に関するシンポジウム」
1990.8.16～22 於ドイツ・ハンブルグ （北大・薬・教授） 鎌滝 哲也
「スフィンゴ糖脂質の生物学的機能に関する国際会議」
1990.7.18～22 於アメリカ・カリフォルニア （静岡県立大・薬・教授） 鈴木 康夫
（注 応募件数11件）

後期

- 「第3回国際抗変異・抗癌機構会議」'91.5.5~10 於イタリア・トスカニ
(岡山大・薬・助手) 有元 佐賀恵
- 「第9回国際放射線研究会議」'91.7.7~12 於カナダ・トロント
(放射線医学総合研・室長) 安藤 興一
- 「第201回アメリカ化学会年会」'91.4.14~19 於米国・アトランタ
(広島大・医・教授) 木村 栄一
- 「第11回国際複合糖質シンポジウム」'91.6.30~7.5 於カナダ・トロント
(神戸女子薬大・助教授) 菅原 一幸
- 「生体エネルギーに関するゴードン会議」'91.7.8~12 於米国・ニューハンプシャー州
(阪大・産業科学研・教授) 二井 将光
- 「第18回天然物科学国際シンポジウム」'91.4.25~27 於メキシコ・モンテリー
(名城大・薬・教授) 古川 宏
以上6件(注3 応募件数10件)

IV 海外からの研究者招聘補助金(1件50万円, 4件総額200万円)

- 「第22回薬物代謝と薬効・毒性シンポジウム」'91.9.18~20 於福岡
(米国カリフォルニア大・教授) アーサー・K. チョウ
- 「第44回日本細胞生物学会大会」'91.11.21~23 於福岡
(ヨーロッパ分子生物学研(EMBL)・教授) カイ・シモンズ
- 「日本薬学会医薬化学部会設立記念講演会」'91.3.27 於東京
(米国ポモナ大・教授) コールウィン・ハンシュ
- 「日本薬学会第111年会」'91.3.28~30 於東京
(米国MIT・教授) ジュリアス・ベック ジュニア
以上4件(注4 応募件数4件)